



発行
日本共産党
春日部市委員会
春日部市中央
7-10-9
電話 736-9933
FAX 736-9991

9月定例議会開会

30年度決算などを審議

こども医療費助成 入院18歳まで引き上げ

26日(月)、市議会9月定例会が開会します。会期は9月20日までの26日間で、議案は条例の制定や一部改正、30年度決算など36件です。

また、日本共産党紹介で「学校体育館にエアコン設置を求める請願」(新日本婦人の会春日部支部・庄和支部)と「消費税増税中止を求める意見書の提出を求める請願」(消費税の廃止を求める春日部連絡会)が提出されました。「赤沼地区における埼玉県道10号についての大型車通行禁止の継続並びに信号機設置を求める陳情」(代表関根一、署名39筆)も提出されました。

県内のこども医療費助成状況

(県内63自治体、本年4月1日現在)

- 入・通院とも18歳年度末まで
桶川市、北本市、行田市、熊谷市、白岡市、秩父市、新座市、深谷市、本庄市、伊奈町、小鹿野町、越生町、神川町、上里町、長瀨町、滑川町、美里町、皆野町、横瀬町、寄居町、東秩父村
- 入院のみ18歳年度末まで
朝霞市、鴻巣市、志木市

入・通院とも18歳年度末まで助成は、県内で21自治体

来年4月から18歳誕生日を迎えた年度末までの医療費助成(無料)を入院に限って実施

する条例改正案が今議会に提案されます。

しかし、左表の通り、県内では、すでに21自治体(9市11町1村)が入・通院とも18歳の年度末まで医療費助成を行っています。入院のみは3市だけです。子育て日本一をめざすのであれば、通院も「無料」にすべきです。

普通会計の積立金は112億8千万円

平成30年度一般会計決算の歳入は732億2335万円、歳出は704億1450万円です。差し引き28億884万円ですが、今年度に繰り越すべき財源である3億6209万円を除くと実質的な繰越金は24億4675万円となりました。(黒字)

普通会計の積立金(貯金)は約112億8千万円で、そのうち財政調整基金(市が自由に使える貯金)は、約42億

円です。昨年度とほぼ同水準となりました。市民の切実な要求に応えることができる財源は十分あります。

交通安全対策等で9億8千万円の補正

令和元年度補正予算の主な内容は、道路の冠水対策(大増中・立野小付近)や歩道整備・破損等の修繕、橋りょう長寿命化、河川施設の修繕・樹木伐採、農業水路等の修繕、公園施設の修繕・樹木剪定などです。

9月議会の日程

- 8月26日 開会、議案の上程
 - 8月29・30日、9月2・3日 議案の本会議質疑
 - 9月5・6日 各常任委員会審議
 - 9月10・11・13・17・18日 市政に対する一般質問
 - 9月20日 討論・採決、閉会
- ぜひ、傍聴にお出でください。本会議はインターネットでもご覧いただけます。

2019年原水爆禁止世界大会・長崎 核兵器のない世界の実現を

8月7日から9日に長崎で原水爆禁止世界大会(原水禁大会)が行われました。日本共産党春日部市委員会の代表として参加した大石敏和さんに大会について報告してもらいました。

海外代表含め 5千人が参加

今年の原水禁大会は、海外代表22ヶ国87人を含め5千人(埼玉161人、春日部4人)が参加し、核兵器のない世界を目指して世界中に連帯の輪を広げようとの熱意にあふれました。日韓関係が悪化している中、開会総会で、韓国の29名の参加者が紹介され熱烈

な拍手で歓迎されました。8月6日(広島原爆の日)にポリビアが核兵器禁止条約を批准し条約発効に必要な50ヶ国の半分の25ヶ国に達したとの報告に、歓声と拍手がわき起こりました。

田上富久長崎市長はあいさつで、被爆者の平均年齢が82歳となるなかで、ヒバクシャ国際署名の重要性を強調し「核兵器のない世界を一日も早く実現するため、市民社会の力をともに発揮しよう」と訴えました。市民連合の広渡清吾さん、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟の吉原毅さんから大会初の連帯のあいさつがあり、反核平和運動の広がりを感じました。

韓国被爆者からの訴え

2日目は「被爆体験の継承・普及と援護連帯」分科会に参加。160人の参加者中、初参加が72人、20代以下が18人もいて、若者たちに継承されていることを心強く感じました。

韓国被爆者の話をはじめて聞きました。韓国の被爆者は10万人もいて、そのうち5万人は即死だと聞き、驚きました。イ・ギユンさんの父は39歳で広島原爆に遭い、74年たった今も行方不明。父の遺骨さえ拾えなかった悔しさなどを涙ながらに切々と話し、「故郷へ戻る事ができない犠牲者の安らぎの場だけでもつくってほしい」と訴えました。日本は謝罪し、イさんの切望に応えなければならぬと思いまし

来年ニューヨークで 原水爆禁止世界大会

3日目の閉会総会では、国民平和大行進や国際署名など多彩な活動報告がありました。女子高生たちが署名20万筆を達成し国連に届けると発言しました。日本共産党の小池晃書記局長は「被爆者や長崎市長が核兵器禁止条約に加われと求めたのに安倍首相は背を向けたままだ。条約に署名する政府をつくりましょう」と訴えました。海外代表もヒバクシャ国際署名の推進を訴えました。

来年のNPT再検討会議に合わせニューヨークで原水爆禁止世界大会を開催することを決めました。

救急電話相談#7119

市立医療センター Tel735-1261(夜間毎日、土・日・祝日)内・外

8/25(日) 横田医院(内科系)中央1 Tel761-0201

あゆみクリニック(小児科系)大枝 Tel731-3283

おおつ整形外科(外科系)中央2 Tel797-5802

9/1(日) つちだクリニック(内科系)一ノ割 Tel733-2900

浜崎医院(小児科系)備後西3 Tel745-6000

渡辺整形外科医院(外科系)西金野井 Tel746-0007

休日の当番医